

第2回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

日 時：令和3年11月9日（火）午後1時30分から午後3時まで

場 所：市庁舎5階 委員会室

委員出席者：【委員長】日本大学生産工学部建築工学科教授 廣田直行氏
【副委員長】公認会計士 吉田恵美氏
【委員】 千葉工業大学創造工学部建築学科教授 佐藤史明氏
習志野市芸術文化協会事務局長 三戸良子氏
習教研音楽部会相談役 市立第六中学校校長 横平佳子氏
（公財）ちば国際コンベンションビル代表理事 伊藤 稔氏
元千葉交響楽団理事長
特定非営利活動法人生涯学習応援団ちば理事 玉浦洋子氏
習志野市商店会連合会会長 高橋 賢氏

事務局出席者：政策経営部 部長 竹田佳司
次長 芹澤佐知子
総合政策課 課長 越川智子
係長 高橋宏明
主査 濱崎芳信
主任主事 大下恵
生涯学習部社会教育課 課長 藤原友哉
係長 吉井利江

議 事：会議次第

開会

第1 会議録の作成等

第2 会議録署名委員の指名

第3 議事

（1）設置理念及び特徴について

（2）市民利用と興行利用及び座席数について

（3）習志野文化ホール再建設基本構想（案）について

第4 その他（事務連絡等）

閉会

資 料：①「習志野文化ホール再建設基本構想案」に対する
第1回再建設基本構想等検討専門委員会からの意見と対応
②習志野文化ホール再建設基本構想（案）
③習志野文化ホールの理念・特徴について
④市民利用中心か興行利用中心か

第2回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

- ⑤近隣各市の取り組み状況
- ⑥文化ホール再建設検討に関するヒアリング〈抜粋〉
- ⑦習志野文化ホール諸室ごと天井高一覧

議 事 録：

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 及 び 決 定 事 項
	<p>会 議</p> <p style="text-align: center;">開 会</p> <p>出席委員は、8名全員であるため、本委員会は成立した。</p> <p style="text-align: center;">議 事</p> <p>日程第1、会議録の作成等について諮る。</p> <p>会議録については、要点筆記とし、会議名、開催日時、開催場所、出席者氏名、議事事項、会議内容、発言委員名及び所管課名を記載したうえで、非公開の議事事項を除く記録について、本市ホームページ及び市役所グランドフロアの情報公開コーナーにおいて、公開することについて諮り、了承を得る。</p> <p>日程第2、会議録署名委員の指名について、三戸委員及び玉浦委員の指名について諮り、了承を得る。</p> <p>日程第3、議事（1）設置理念と特徴について （2）市民利用と興行利用及び座席数について 〈資料①、③～⑤に基づき事務局より説明〉</p> <p>廣田委員長 只今の説明についてご意見、ご質問を伺う。 これにまとまっている通りだと思うが、意見交換に入る前に、現状の施設評価については、資料③が中心と考えて良いか。</p> <p>事務局 良い。</p> <p>廣田委員長 座席数については、特に問題ないであろう。そして、大きな問題点としては、興行の11tトラックの扱いについては問題とされているということであった。これらを踏まえて、設置理念・特徴、市民利用と興行について意見をいただきたい。</p> <p>吉田副委員長 まず、設置理念と特徴について意見をまとめていただきたいが、いかがか。 前回の会議で、学校の生徒が習志野文化ホールで一度は舞台に立つということをととても重要視されていると伺ったが、もう一度、委員の中で認識を深めさ</p>

第2回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

三戸委員	<p>せていただければよいと思うので、意見を伺いたい。</p> <p>習志野に40年以上在住し、文化ホールへ長く利用者としても来場している。また、市内の音楽団体が毎年30年以上定期演奏会などで、文化ホールを利用させていただいている。</p> <p>それから、習志野市芸術文化協会で、こちらは音楽の団体以外にも様々な連携団体があるが、そちらの団体のサポートをさせていただいている立場として、また、利用者として意見を述べさせていただきたいと思う。</p> <p>まずはその理念について、資料③にあるように、40年間この理念できており、私たちもとても愛着のあるホールであり、駅前といっても、今のところは近くて遠いというふうに言われ、段差があったりで、そこに辿り着くまでに疲れてしまうということは聞いているところであるが、そこはこれからのバリアフリーで改善して、やはり駅前にあること、それからやはり音の響きを重視した多目的ホールというこちらは変えていただきたくないと思っている。</p> <p>芸術文化協会の方も、今週の週末にも舞台・ホワイエを使って、市民文化祭として催し物をする。いろいろな団体が展示したり、今はコロナなどで茶道はできないが、華道や陶芸、絵画はそこで展示している。舞台では、フラダンスや、日曜日は、音楽団体が市民音楽祭としてやらせていただいているので、ホワイエも、できたら今の規模で、保てたらと思う。</p> <p>そういうことで、以前と変わりなく、それでさらに改善するところは変えていきたいと願っている。</p>
廣田委員長	<p>これまで市民利用が6割で興行3割、位置付けとしては、これまでの通りでお願いしたいということである。</p>
横平委員	<p>学校の立場から少し示させていただく。</p> <p>資料③に記述してある理念についての本市の考え方というところに、非常に賛同している。</p> <p>やはりこれはしっかり継続していただきたいということがある。</p> <p>ホールというと聴くためにお客様がいらっしゃるというコンセプトが必要と思われる方が多いのではないかなと思うが、習志野市は、素晴らしいステージの上に、小さい頃から立てるというところに特徴があるのではないかなと思う。</p> <p>音楽のまち習志野とうたわれているが、聴く、または経験するだけではなく、実際に自分が活動するということも含めて、音楽に対して、また芸術に対して親しみがわくのではないかなと思う。そのところはやはり幼い頃から子どもたちが受けているものなので、今後も大切にしていっていただきたいと考えている。</p> <p>コロナの関係で、小中学校の音楽会や合唱コンクール、使う場がここ2年間ぐらい損なわれているが、11月1日に習志野市の感染症のレベルが下がったことで、本校は11月2日に文化ホールで合唱コンクールを行った。</p>

第2回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

<p>佐藤委員</p>	<p>ホールのステージ上で子どもたちは、感染症対策を講じながらマスクを取って歌ったが、保護者の方が涙するくらい感動してくださったり、子どもたちの顔がものすごくさわやかで、達成感に満ちており、学校に帰ってきてからもホールで歌えてよかった、響きがやっぱり違うということで、音の大切さなど、学校や他の所では気づかないようなところにたくさんの細かい気づきがあって、情操面においても非常にやってよかったという充実感を感じた。子どもの立場からすると、ぜひこの考え方は変えずにいければと考えている。</p> <p>理念については皆さんと同じで、特に新しいものを持ち込むとは思っていない。</p> <p>しかし、特徴は重要と考えている。資料①の意見番号⑤だが、私が質問させていただいたところで、ヴィンヤード型やアリーナステージ型は、検討はされたのかと。その答えが、プロセニウム型とヴィンヤード型は比較検討してプロセニウム型としましたという書き方である。少しヴィンヤードというのは極端だが、アリーナステージ型には、少し周りに席があって、でもヴィンヤード型ではないみたいなタイプがあるのだが、それはどうか。</p> <p>その方が他のホールといろいろ差別化が図れるのかと、或いは、アリーナステージ型で、これも前回ちょっと言及したが、幕を垂らすなどで、ちょっとしたプロセニウムみたいな形に持っていけるので、素人の方が見たら音楽ホールっぽいというか、そういうものがあると、子どもの教育にもいいのかなと思った。</p>
<p>玉浦委員</p>	<p>前回何件か問題を投げかけさせていただいた。設置理念は市がまとめたもので、よくまとまっていると思う。</p> <p>千葉交響楽団のOBとしては、音楽専用ホールが良いという思いが心の中にずっとある。ただ、他の文化団体の方もいるので、それはもうゴリ押しはできないだろうと考えている。</p> <p>音楽に特化したというよりも、十分音響等を考えた上で設計をした多目的ホールとしていただければ、それはそれでいいかなと思う。</p> <p>それからもう1点、11tトラックの搬入口の関係だが、それも結局はどのようなコンセプトにするかによって違って来るわけだが、多目的ホールというように興行もやるんだと考えると、今、周りに大きなマンションも建ち、搬入口で渋滞するような事があってはならないだろうと思うので、11tトラック2台分は不要だと思うが、中間をとって1台分ぐらいのスペースは必要なのではないかと考える。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>理念については、40年前に掲げたのかと感心している。先日、市立習志野高校が全国吹奏楽コンクールで金賞を取ったということで、そういう子どもの頃からの音楽活動が、やっぱり実を結んで全国レベルの活動ができていると感じた。そういうことで理念については問題ないが、そういった理念の下で、こ</p>

第2回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

	<p>の文化ホールを作っていきましょうということなのであるが、その立地についてです。</p> <p>例えば、今の駅前という、そのJR津田沼駅という非常に利用者が多い駅の目の前であるが、一方では、行きづらいということもあるとお伺いした。</p> <p>何がなんでもそこにある必要があるのかどうかという議論は、されているのか。現在既にあるので、造った当時はそこに素晴らしいものがあったのであろう。例えば千葉市などでも、JR東日本の敷地への合築ということであり、こうしたことを考えていくと、単独で多目的ホールというようなものを含めて、市有地などでやれる可能性はないかと。</p> <p>以前、旧庁舎の跡地利用の委員会で検討してもらい、その中でもやはりホールを造ったらいいのではないかというような話が出たと伺っているが、区分所有で100億円ということ、さらにかかるかもしれないという中で、そういうところを、もっと使いやすい、或いはその搬入の問題とかいろいろ工夫ができるということを見ると、そんなに立地が悪いわけではないと思うので、その辺のところの検討というのは今のところでスルーで、再開発の中の区分所有で床をしっかり持っていくということなのだが、単独の時に、新しいものということも、考慮されて、市として必要なもの、他の施設も含めてということがあるのだろうが、そういった検討がなかったのか、或いはこれからなされるのかちょっと伺いたい。</p>
<p>廣田委員長</p>	<p>貴重なご意見だと思う。</p>
	<p>費用対効果というのは、財政が非常に苦しい習志野市においても重要な問題だと認識している。</p> <p>これらについては、まず、施設のあり方を最初に検討した上で、そして次に、敷地についてご意見いただく資料を、改めてこの後、議事（3）以降で、資料を上げ、検討させていただく。</p>
<p>吉田副委員長</p>	<p>資料⑤で、千葉市民会館の資料を提示していただいたが、千葉市民会館の理念を拝見すると、千葉市はとても大きな公共団体なので、すべての生徒さんがそこに登壇するという、習志野文化ホールのようなことは当然難しく、どちらかというところと興行であったりとか、そこに来て鑑賞するといったものが、重要視されて再設置されるのかなと思う。</p>
	<p>そういった点については、千葉市はそれぞれの区のホールで行うことが可能であり、生徒が登壇している習志野文化ホールとは大きな違いがあると考えられる。</p> <p>皆さんと同じ意見であるのだが、市民利用というものが重要視されていくべきである。千葉市民会館との規模の面とか似通った面があっても大きな差別化となると感じている。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>今、部分的に、11tトラックの話が出た。</p>

第2回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

	<p>いずれにしてもあそこのモリシア津田沼の、再開発が予定されている。その中でやはり、今現在も広くない道路にコーンを立てて、駐車場に入るにも駅の方を回らないといけない。</p> <p>再開発の中で、やはり文化ホールの大型トラックが置けるようなスペース、これはどうしても作っていただかないとならないのかなと。そう申しあげるのは、今、駅前のバスベイがパンク状態である。それから企業バスが、溢れている。船橋の企業の車が結構多いのだが、船橋に負担しろというわけにはいかない。やはりこちらも用意しなきゃいけない。そのため、再開発トータルプランの中で、1階はセットバックして浮いて広げるとか、やはり駐車場のあるべき姿、この11tトラック1台2台の細かいことよりも、もっとそれも含めて、やはり、モリシアの再開発は検討する余地がある。</p> <p>もちろん、文化ホールには2台や3台停められるようなものがあっていいと思う。</p>
<p>廣田委員長</p>	<p>当然、市民利用が6割以上で、興行利用が3割ということで、これまでの文化ホールのあり方を継承していくということになると、その駐車スペースも大変重要な論点になってくるかと思う。</p>
	<p>まず、市民利用6割以上、興行利用3割というこれまでの活動内容について、大体、継承していった方がいいというご意見を伺ったが、そういう方向で、資料③のおまとめいただいた内容の方向でよろしいか。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>その利用の割合を目指しているということか。それとも結果的にということか。</p>
<p>廣田委員長</p>	<p>P D C Aをまわしたときに、それで不都合があるかどうか、変えた方がいいかどうか改善する必要があるのかどうかということについて、こういう理念に沿って、今のところ、皆さん市民の方が、満足している活動、その際に、改善すべき点はどこにあったのかということ、興行利用で、トラックの搬入が難しかったので、そこは改造、改善すべきじゃないかというご意見だったと認識しているが。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>その市民利用が6割以上というのは、例えば運営上の問題として興行の方が使用料は高くなる。だからその程度確保したいんだということなのか。本来その市民利用という希望があれば全部としたいのか。だから、市民利用が主というのが理念であって、結果的に市民利用の中にも興行も当然入ってくるわけなのか。</p> <p>だからその割合を目指すというのは、理念ではないということなのであろう。</p>
<p>廣田委員長</p>	<p>そう思う。</p> <p>結果的に、6割以上が市民利用になっていて、その市民生活を豊かにするという部分では、興行も必要だろうということである。</p>

第2回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

高橋委員	<p>建設当時、相当の覚悟で、私どもも通った第一中学校を600m西側に移設して、文化ホールを造るために開発をやった。</p> <p>その理念は素晴らしいと思う。ただ、限られた資産であり、この資産の有効価値をどうあるべきかということで、結果的に60対40であろうと、65対35であろうと、有効活用するための施設になって欲しい。そのためにどうあるべきかということだと思う。</p>
廣田委員長	<p>市民活動を豊かにする施設ということである。</p>
高橋委員	<p>資産の有効活用である。習志野市に残された資産はそんなにあるものではない。有効活用を図るという目的を達成し、活性化するというために皆さんの知恵を出してもらった方がいいのではないかなと思う。</p>
廣田委員長	<p>資料③の設置理念については、皆さん共通理解にあると思う。</p> <p>それに絡めて、先ほどの千葉市の話でもあったが、規模の問題である。この市民利用に重点を置くという前提のもとで、規模をどのように考えるかというのは、(2)の問題で、上がってきていたものである。</p> <p>これらについて、若干各論に入っていくが、市民利用と興行利用のバランスと、そしてそのためにはどのぐらいの規模がいいのか、広域利用も含めてのご意見をいただきたいと思う。</p>
吉田副委員長	<p>先ほど吉田委員の方からは若干、千葉市の位置付けと、習志野市の位置付けが違っており、同じような1,500席規模ではあるが、位置付けが違うので、いいのではないかなという肯定的なご意見をいただいた。</p> <p>市民利用という点では千葉市は各区にそれぞれホールがあり、それらは1,000席に満たないプラッツ習志野と同じようなサイズのホールである。</p> <p>千葉市内の全小中学生が千葉市民会館に登壇するというのは、実質不可能だと思うので、そこは千葉市と習志野市の特徴が変わるのかなと思う。</p> <p>1,000席と1,500席であると、事業費に大きな影響を与えるという認識はよろしいか。</p>
事務局	<p>この後、敷地候補地の検討といったような話にも入ってくるが、単純に考えてやはり事業費には大きな影響があると考えている。</p>
伊藤委員	<p>そうするとその中でも1,500席というのは、ある程度興行的にも成り立つところということでもよろしいということか。</p> <p>私も幕張メッセに勤めた経験があるのだが、1万人入って1万円の入場料が取れて、興行的には2日ぐらいやれたら一番いいのではあるが、そういうわけにもいかないであろうし、2,000席から3,000席のホールというのも、検討したことがあるのだろうが、やはり採算的にもなかなか難しいと。それは民間事業者が造ろうとしてるからという問題になるのだろうが、</p> <p>1,500席というのは市民利用、例えば習志野高校が演奏会をやっても、もう、すぐ売れてしまうという話を聞いた。そういったものも含めて、その辺が</p>

第2回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

<p>廣田委員長</p>	<p>戦略ということになるのだろうと思う。それからすると、現状の1,500席は妥当なのではないかと思う。</p> <p>現状で1,475席というところを継承していく。活動的にも規模的にも継承していく。そういったような流れだと思う。</p>
<p>三戸委員</p>	<p>こういうことを考えると、もっと多い方がいいのかもしれないが、市民が利用する、それから興行というのも、市民が鑑賞するというので1,500席なら大丈夫かなとは思う。ただ、市民団体が利用した場合に、その1,500席が全部、常に使えるかという、また違って来るかなと思う。第九演奏会や習志野高校の定期演奏会はもう満杯になるし、毎年、演奏会をされてるところはほぼ満席に今のところなってると思うが、もっと小さな団体もあり、座席数を、この資料では1,500席でワンスロープと書いてある。まだ決定ではないということだが、例えば、ここに2階席を作った場合、それを庇で作った場合、バルコニーで作った場合で、また違って来ると思うが、この比較があり、部分利用の話として、例えば、1階だけで900席とか1,000席、2階が600席とか500席にして、下だけを使った場合料金も変わる、使用料金も変わるという方向だともっと利用者があると思う。それからこちらの比較表に、ワンスロープの場合は、エレベーターが必要ないとあるが、今の文化ホールも一番上の6階に行くためには、やはり外から上がるには階段を幾つも上らなくては行けないので、ワンスロープであっても、エレベーターは、必要だと思う。この2点について申し上げたい。</p>
<p>廣田委員長</p>	<p>現状の1,475席を若干上下すると思うが、その規模で進めるということについて、反対意見がもしあれば、伺いたいと思うが、現状維持で、よろしいか。</p>
<p>吉田副委員長</p>	<p>市民利用として、少し多いのかなということだが、現状、習志野高校や第九で市民の方たちが満席に近い状態で楽しまれてる状況を考えれば、1,500席というのは、大きいけれど良いのかなと思う。</p>
<p>廣田委員長</p>	<p>あと、改善点としてはそのバリアフリーの問題や、搬入トラックの問題とか、そういうところはあるが、多分、興行利用として搬入トラックが必要だというのは、共通の認識だと思う。</p> <p>敷地の立地によっても、台数確保は変わってくると思うので、その辺の各論については、議事(3)の方で、またご意見をいただきたいと思う。</p> <p>それでは、議事(1)、(2)は、この程度にさせていただき、次に(3)の基本構想案について、事務局からご説明いただく。</p>

第2回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

<p>廣田委員長</p>	<p style="text-align: center;">議事（3）習志野文化ホール再建設基本構想（案）について 〈資料②に基づき事務局より説明〉</p> <p>只今の説明についてご意見、ご質問を伺う。</p> <p>この資料については、後半部分を除いて、前回の資料で皆さん見ているところだと思ふ。</p> <p>先ほど佐藤委員からあったホールの形式、それから伊藤委員からあった、敷地の状況など、選定地も含めて、ご意見いただきたいと思ふ。</p>
<p>吉田副委員長</p>	<p>旧庁舎跡地活用検討委員会の委員長を務めていたので、少し補足してお話させていただければと思ふ。</p> <p>確かに利用案の候補として音楽ホールとして挙げているが、候補を列举した中での一案ということで、検討委員会としてホールを建設すべきだということではなかった。検討委員会は基本的理念を検討したもので「～人が集まり、留まり、つながる～みんながいきいき活躍できる空間であり、多世代で賑わう習志野市の魅力を発信する場所」とさせていただいている。現在の市役所庁舎の目の前の場所であることから、皆さんもよくご存知かと思ふが、このエリアは、道路の計画から、交通の便がよりよくなるとされており、鷺沼地区の再開発で人口が増えるという予想もされているので、多世代や、市内・市外の色々な方が集える場所、音楽だけではなくカフェであったり、コワーキングスペースなどのビジネス、そういった様々なものが集まることでいろんなイノベーションが生まれる場所として、ご提案をさせていただいた。その中の一つとして音楽のまち習志野という意味で音楽に関係することができてもいいのではないかという意見があったということ、本委員会の皆様とも認識を共通させていただければと思ふ。</p>
<p>廣田委員長</p>	<p>それでは、敷地の選定についての大きい方から、徐々に各論に詰めていきたいと思ふ。ハンドリングがしやすいことと、工事費で大体概算30億円ぐらい差がある、それが大きいと思ふ。</p> <p>逆に、都市計画地域で網かけがかかっている。法的規制があり簡単には建たないが、市民利用と、先ほどの興行利用の利便性、問題についてご意見、よろしいか。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>どちらの土地ということについて、今おっしゃったように、潤沢にお金があるのであれば、旧市役所の土地は、京成津田沼駅はシャッター通りと言われて長いわけなので、既に庁舎という市民利用の拠点があって、都市計画もさわらずに、現状のJRの駅前にできればいいのだろうが、それ相応の、当然お金がかかる。両方あっちもこっちもということではいけないのだと思ふているが、その辺のところ、音楽ホールを、現状のまま区分所有で持ち、かつ旧庁舎跡地の案もそれなりに整理をするということか。</p>
<p>廣田委員長</p>	<p>多分結論は出ないと思ふので、それはご意見だけいただいて、事務局の方に</p>

第2回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

伊藤委員	<p>検討いただくという形になるかと思う。よろしいか。</p> <p>まずはその立地、二つの候補地について、ご意見をいただければいいと思う。</p> <p>それで、事務局にお渡ししたいと思う。</p> <p>現状、いろいろ問題があるという部分が多いところ、その問題を解決するには新しい土地でやってしまった方がいいかということもあるのかなと思う。都市計画については、自分で直せばよいという気はしているが、やはりトータルで示していただかないと、こちらはこちら、あちらはあちらということではなく、こちらもあちらも両方含めて、どのように市民の皆様に場を提供し、そのための財源をどのようにしていくのかというのが、今後必要なのではないか。</p>
廣田委員長 伊藤委員	<p>検討する価値があるというご意見ですね。</p> <p>そういうことである。だから今の文化ホールをそのまま同じ場所でやるという中での、問題点がクリアできているということである。</p>
高橋委員	<p>色々な問題をクリアしながら新しい場所の方がいいということが出れば、それをお示しした方がいいのであろう。</p> <p>旧市役所跡地の、都市計画法を変えれば、ということになるのだが、周辺環境整備は、できないものがいっぱいある。</p> <p>というのは京成の開かずの踏切。二つある。</p> <p>習志野市の七つの駅の中で、一番南北が遮断されている。北側から来る人はどうするのか。やはり難解な問題である。</p> <p>一時期、サンペデックが昭和53年の10月13日にオープンしたときも、3・3・2号線が開通されていなかった。82名の地主さんが協力して、後日できたが、あの周辺の街路整備。それから京成電車はどういうふうに跨ぐかということで、苦慮する。</p>
伊藤委員	<p>私どもも陳情したり、地主を口説いたり、いろいろして、3・3・2号線ができて、京成を跨ぐことができたが、この場合はそう簡単にはいかないと思う。</p> <p>都市計画法を変えればいいということを申し上げたわけでは無くて、都市計画法に基づき計画を変えることはできるでしょう、ということをお願いしたのが一つ。資料にも書いてあったように、JRと京成線を跨ぐ3・3・3号線も、平成35年とかに着手するところであったが、大分延びているのだが、それも今やっているところである。でも、開かずの踏切は困る。大変だと思う。</p>
廣田委員長	<p>その他、ご意見なければ別の話題も取り上げていきたいのだが、そういう敷地については検討するべきだろうというご意見だと思うので、今後継続して、敷地選定については検討を進めたいと思う。ということで、もう少しデータが必要だと思う。今の踏切の問題もある。</p>
伊藤委員	<p>先ほど高橋委員からお話があった、土地を譲ってくれた方の、お気持ちにつ</p>

第2回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

<p>廣田委員長</p>	<p>いて、もう少しお話いただけるか。</p> <p>まさに、話し合っって中学校が移転して、そこを全部商業施設にしてしまっっていいのかどうかということであり、こういうことは結構揉める。</p> <p>その二つの候補地があるということで、本日の委員会ではとどめさせていただきたいと思うので、その他の意見をいただきたいと思う。</p>
<p>吉田副委員長</p>	<p>旧庁舎跡地の検討については、旧庁舎跡地活用検討委員会で、立地についても詳細に確認したので、事前に委員会メンバーの皆様には報告書をお目通しいただくなり、報告書からバージョンアップする必要があるところは事務局に変えていただきながら、本委員会の資料として参考にしていただくと、道路の計画についてもしっかりと記載しているので、皆さんが同じ土俵で話ができるのではないかなと思う。</p>
<p>廣田委員長</p>	<p>それについては事務局の方で資料整理していただきたいと思うので、参考にしていただければと思う。</p> <p>それではちょっと敷地から離れて、各論をもう少し詰めていただきたいと思う。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>先ほど佐藤委員からホールの形状、それから三戸委員から区分利用の可能性についてあったが、佐藤委員、もう少しちょっと簡略化してご説明いただきたいかがか。</p> <p>先ほど言ったのは特徴のところ、ホールの特徴が大事だということ。</p> <p>1, 500席という数ではなく、数が一緒でも、特徴があればそちらの方が大事ではないかなということである。そのときに、もちろん多目的利用なのだが、ちょっと音楽ホールっぽいものというのも、可能性があるのかなと思った。先程の資料①の5番目のところで、プロセニウム型と、ヴィンヤード型に分かれているが、アリーナ型もある。ヴィンヤード型はアリーナステージ形式でもあるが、中間的にアリーナ型で、ワンスロープではなく2階席もあって、庇もあまり出ていなくて、ただし公演などで使うときには何かこう、幕を垂らすとかでうまく処理している例もあるだろう。</p> <p>要するに多目的ホールだからワンスロープかというところではない。必ずプロセニウムがいるのか。バレエをやらなければ、プロセニウムはいらなくなるのではないか。</p>
<p>廣田委員長</p> <p>佐藤委員</p>	<p>吊り物の問題もある。</p> <p>吊り物の問題もある。音楽ホールぽくしておいた方が、吊り物や後ろのフライタワの大容量部分が少なくて済むとか、いろいろあるので、まだワンスロープ型に決めなくてもいいかなと思っている。</p>
<p>三戸委員</p>	<p>数は少ないかもしれないが、ホールで和のものも、公演があると思う。その時にオープンステージはなかなか難しいのかなと思う。プラッツ習志野の市民ホールもあるが、ちょっと使用がなかなか難しく、文化ホールを使うと言われ</p>

第2回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

佐藤委員	<p>ているが、そういった面ではプロセニウム型でとは思う。</p> <p>例えばサントリーホールでも琴の演奏会を行うと思うが、アリーナステージ形式にしてしまうと、なぜ和の演奏が難しいのか。</p>
三戸委員	<p>私も和の方ではないので詳しくは分からないが、周りに何も無い状況ということである。</p>
廣田委員長	<p>サントリーホールは音楽専用ホールか。</p>
佐藤委員	<p>サントリーホールは音楽専用ホールである。ヴィンヤード形式である。</p> <p>それでも、和の演奏もする。</p>
三戸委員	<p>民謡・民舞の方がされると難しいのかなと。私もちょっと詳しくはないが、さらに興行で歌舞伎というものもそれほどにはないと思うが、そういった場合に、難しいのかなと思った次第である。</p>
廣田委員長	<p>基本構想を作る段階で、その辺のご意見も検討事項として入れておいていただければと思う。</p> <p>バリアフリーの話も出たと思うが、バリアフリーについてもご意見いただきたいと思う。</p> <p>あと、座席の間隔についても、各論に入って検討した方がいいという事項があった。</p>
高橋委員	<p>このバリアフリーについては、まちづくりから始めないといけないと思う。というのは、文化ホールは当然バリアフリーにすべきで、今専門家の方がそれを考慮して、そこに至るまで、周辺の街路整備の中でもバリアフリーを検討している。それから、モリシア津田沼の状況を見ると、決してバリアフリーになっていない。2階へ上がるのに1回エレベーターに乗らないと2階へ上がれない、現況そういう状態である。</p> <p>なので、モリシア津田沼の再開発の時には、文化ホールも含めて当然、近くて遠いという話があったが、そうならないように、文化ホールはバリアフリーにするのが当然のことだと思う。障害を除くということで、まちづくりをやっていたきたい。</p>
廣田委員長	<p>資料には吊り物についても結構詳細に出ているが、そういった中でパイプオルガンの考え方についてもご意見がある方はいかがか。</p>
佐藤委員	<p>オーケストラピットがあると、もうオペラができなきゃいけない。オペラを行うためのものである。そうするとフライタワー或いはもう、すごい規模の吊り物が自動的に必要になってくる。オーケストラピットがあるかないかで話が変わって、無いのであればある程度の天井高で、バトンを渡しておけば何とかなる。</p> <p>実はオーケストラピットをどうするかを先に見ていただかないと、その先に進まないかもしれない。</p>
玉浦委員	<p>オーケストラピットについて、オーケストラではまず使っていない。</p>

第2回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

	<p>そもそも、今の舞台自体が、オーケストラピットなしで、オーケストラがやれるのか。迫り出さないと100人規模のオーケストラができない。舞台の広さをどのくらいにするか、逆に言えばオーケストラピットを迫り上げることによって広がるので、ピットを作るプランがあればそんなに広くはいらぬだろうというような議論もあるのだが、それをどうするか。オーケストラピット自体がピットという趣旨で使われていないのであれば、もともとの舞台のスペースを、広くしないといけないのではないかと思う。</p>
<p>廣田委員長</p>	<p>日本全国でオペラをやっているところ、定期的にはやっているところは、数えるほどしかなかったと思うが、ご存知の方がいたらご紹介いただけるか。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>鎌倉芸術館、あと、新宿文化センターがある。オペラ団体とか、アマチュアオペラを選ぶ好きな人たちは一定数いるといえはいる。</p>
<p>事務局</p>	<p>いろいろなご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>まず、オーケストラピットについては資料①の17ページをご覧いただきたいと思うが、17ページのエ、オーケストラピットという項目を設けており、先ほど玉浦委員からもご案内いただいたが、直近5年間で、ピットとして利用したことは、正直ない。</p> <p>つまり、迫りを上げて舞台を拡張するために使用しているというのが実態である。この中で、この基本構想の案としては、現時点では、下から2行目のところだが、オーケストラピットは新ホールには設置しないという形にしており、舞台そのものの拡張について、基本計画にて検討していくということにしている。</p> <p>始めの説明が言葉足らずのところがあるかもしれないが、今回この基本構想の案について、前回の委員の皆さんの意見から、修正したところは赤字で記載している。</p> <p>まず8ページだが、トイレの改善のところである。こちらについて、前回、トイレの増設について多くのご意見をいただいたところなので、トイレの増設、特に女子トイレについてのご意見をいただいたので、こちらは書かせていただいた。</p> <p>またこのトイレの改善としては、当初の案ではア、の中で記述していたが、独立した項目とさせていただいたところである。</p> <p>また、10ページの搬入口の改善というところだが、こちら玉浦委員からも前回ご意見いただいた中で、2台は必要ないのではないかというご意見があったが、こちらの2台という記載は削除させていただき、止め置けるスペースを確保することが求められています、という記述に変更している。</p> <p>それから12ページでは今回、2団体にヒアリングを追加で行った中で、舞台装置が置けるスペースがないというようなお話や、映像の演出が結構主流になってきている中で、プロジェクションマッピングというか、そういった形の</p>

第2回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

<p>伊藤委員 事務局</p>	<p>演出が可能になるようなホールにしてほしいというご意見があったので、こちらの方の記述をさせていただいているところである。</p> <p>続いて、16ページの附属施設というところで、リハーサル室がちょっと狭すぎるというようなことで、リハーサル室というのは基本的には舞台と同規模でなくてはリハーサルができないといったご意見を、これまでもいくつかの団体からいただいている中で、舞台と同様の規模などといった、記述を入れさせていただいている。また17ページを見ていただくと、オ、ホワイエのところだが、前回、佐藤委員をはじめ皆さんからご意見いただいた中では、日常から劇場という非日常へ誘うスペースだということをも明記させていただいたところである。18ページ(8)その他のところでは、こちらの吸音について災害時の利用等にも配慮した中で、佐藤委員よりいただいた意見となっている。また、近隣の状況を踏まえ、本市のホールの使い方を明確にして差別化を図るといった記述を入れさせていただいているところである。</p> <p>パイプオルガンの話があったが、全国的にどの程度のところが設置して、習志野市が今後もそれを背負っていくといった、そういう背景はあるのか。</p> <p>パイプオルガンについてはまず、県内の公共ホールで持っているのは習志野市のみである。民間では一つあるといった話を聞いているが千葉県公共ホールでは、ここだけということである。</p> <p>こちらについては建設当初のところを紐解いてみても、つけた経緯が記録としては、はっきりとわからないのだが、当時、NHKホールに匹敵するようなホールを目指すという中で、設置されたといったことを建設当時のOBから聞き及んでいる。</p> <p>こちらについては様々な意見があり、現時点まで38団体42名の団体や市民の方、関係者の方にヒアリングをさせていただいた中でも、かなり大きく意見が分かれている。やはり、使わない、利用頻度が低いというようなところをもったいないといったことや、これにお金をかけるなら、使用頻度の高い良いピアノをそろえて欲しいといったご意見、また、この分で枠が埋まってしまうので別に無理に使う必要はないのだというようなご意見から、やはりこれは習志野市の宝であり、象徴的なものなので大事に残して欲しいというようなご意見まで、本当に様々なご意見をいただいているところである。前回もご説明させていただいたかもしれないが、現状、解体再設置に約1億2000万円、さらに外部倉庫で保管する場合は、これを5年間として、2000万円ほどかかるのではないかという中で、1億5000万円程度が見込まれるということはどう判断するかについては、現状、まだ我々としては検討を続けているところである。</p>
<p>廣田委員長 吉田副委員長</p>	<p>継続検討という流れである。</p> <p>象徴するものであるという思いがあることは理解しているが、逆に、千葉県</p>

第2回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

<p>横平委員</p>	<p>の中で、決して大きくない地方公共団体の習志野市が、今後継続的に、保有していくべきものなのかどうかという財政面では問題視している。結局、その負担が残るのは未来の世代の子たちや、今から産まれてくる子どもたちなので、その世代に負担を負わせるかという視点も重要なのかと思う。ネガティブな考えである。</p>
<p>横平委員</p>	<p>パイプオルガンについては費用の面があるので、いろいろ懸念されることは承知なのだが、やはりシンボルであるとか、小さい頃からというところから、今まであったものが無くなってしまふ寂しさはある。ただこれについて様々な意見があるので、結論的には何も言えない。例えば、今の規模を縮小したものにするとかそういったこともできないであろう。また、新たな、よく音楽大学に設置されているような小規模なものであるとか、教会にあるような、というものもあるのだが、そこまでして設置する必要があるのか、というところになると思うので、これはまた検討事項かなと思う。無くてもいいのかなという考えに少し変わってきているところがある。</p>
<p>横平委員</p>	<p>それからバリアフリーのことなど、こちらの基本理念の中に、音の響きを重視したということがあったので、そういったことを大切にしたいワンスロープで検討していただきたい。庇があつたり、バルコニーがあると、席の位置によって、全然響き方や聞こえ方が違ってくるため、どうなのかと思う。邦楽などいろいろな演奏を考えると、一番それがいいのかな、と自分の経験から、そのように思った次第である。</p>
<p>横平委員</p>	<p>バリアフリーの件について、たくさん出ていたが、今まで演奏会を主催する立場で受け付けや裏方をやっていて、特にお年寄りの方などがいらしたときに、車椅子のトイレが奥の方にあつて知らない方も多い。それから大体裏のエレベーターで上げさせていただいて、裏を通過するというので何人かついてご案内をしたり、また、車椅子で見られる席は、座席を崩してそこにご案内する形であり、付き添いの方が当然いらっしゃるの、付き添いの方の席を一つ置くといった形で、非常に不便を感じている。</p>
<p>横平委員</p>	<p>敷地は横と縦には延ばせないであろう。高さは延ばせるかもしれないが、縦横はもう無理かと思う。習志野市の意見を言える場が少ないのであれば、バリアフリーについては限界があるのかな、ということを感じているので、敷地のどちらかというところにも繋がってしまうのだが、バリアフリー化を考えていくには大変なのかなと思う。</p>
<p>廣田委員長</p>	<p>時間も大分詰まってきたが、今日発言しておいた方がいいことがあったら、お願いしたいと思う。</p>
<p>吉田副委員長</p>	<p>搬入とバリアフリーを考えると、地面から直接行けるというところは、メリットが高いのかと思う。どうしても4階5階と上に上がってしまうと、そのたびに、エレベーターで昇ったり下りたりといったことになってしまうので、そ</p>

第2回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

廣田委員	<p>ういった意味で、ワンフロアで荷物を運べたり、人も動けるといのは、大きなメリットではないかと考える。</p> <p>基本構想案に加筆修正した方が良い部分、この辺をもう少し検討事項としていくべきではないかということはあるか。</p>
吉田副委員長	<p>フレスコ画とかステンドグラスとか、そういったものがパイプオルガンに準ずるように、皆様の思い出というものがある一方で、そこまでのことをする必要があるのであるのかどうか。特にフレスコ画がかなり傷んでいるので、ある程度、鑑定評価みたいな形をしていただいた上で残すものは残し、残念ながらそこまでの価値がないと認められるものは、改装にあたって、もうあきらめるようなことをしなければいけないと考える。</p>
玉浦委員	<p>千葉市が、1, 500席で駅近で再建設するということとなり、もし、習志野市がそのままの場所にまた新たに同じ規模で造るとなると、やはり興行の部分で競合する事になると思う。</p>
廣田委員長	<p>先程来、意見があったように、習志野市文化ホールは市民利用中心というように考えると、より特徴のある、音楽のまちというものを前面に出すことは、差別化という意味で大変重要なのではないかなと思う。</p> <p>大切なことだと思う。そのための理念だと思う。</p> <p>それでは、時間も限りがあるため、基本構想については、これまでとさせていただきます。</p>
廣田委員長	<p>続きまして、日程第4、その他としまして、事務局からあれば伺う。</p> <p>〈次回、第3回委員会の日程調整を行った〉</p>
事務局	<p>それでは、次回第3回委員会は1月27日木曜日、午前10時からの開催ということにさせていただきたいと思う。会場等につきましては改めてご連絡をさせていただきたいと思う。よろしくお願いたします。</p> <p>次回委員会では、本日頂戴したご意見を踏まえ、また基本構想案を修正させていただき、構想案をご審議いただく予定である。</p>
廣田委員長	<p>このほか本日言い足りない意見ということがあれば、一週間後までを目途に書面で提出していただければ反映させていただくのでよろしくお願したい。</p> <p>これをもちまして、第2回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会を閉会する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block;">閉 会</div>